

入院患者の転倒・転落発生率と損傷発生率

病院に入院したにもかかわらず、ベッド周辺、歩行途中、トイレや入浴時など思わぬところで転倒転落が起きています。院内安全管理委員会にインシデント／アクシデントレポートとして報告された件数をもとに、入院患者さんの転倒転落の発生率を算出し可能な限り防ぐためのリスク把握に努め、予防に取り組んでおります。

【当院の活動】

医療安全管理室では、日々のインシデント／アクシデント報告をもとに情報を分析し、現場における医療事故対策に対し、各部署のリスクマネージャー及びセーフティマネージャーと連携し活動しています。時には現場に関連コメディカルが集合しリスク対策を講じております。

1) 転倒・転落発生率

対象病棟：一般病棟、地域包括ケア病棟、回復期病棟(障がい者施設等一般病棟含めず)

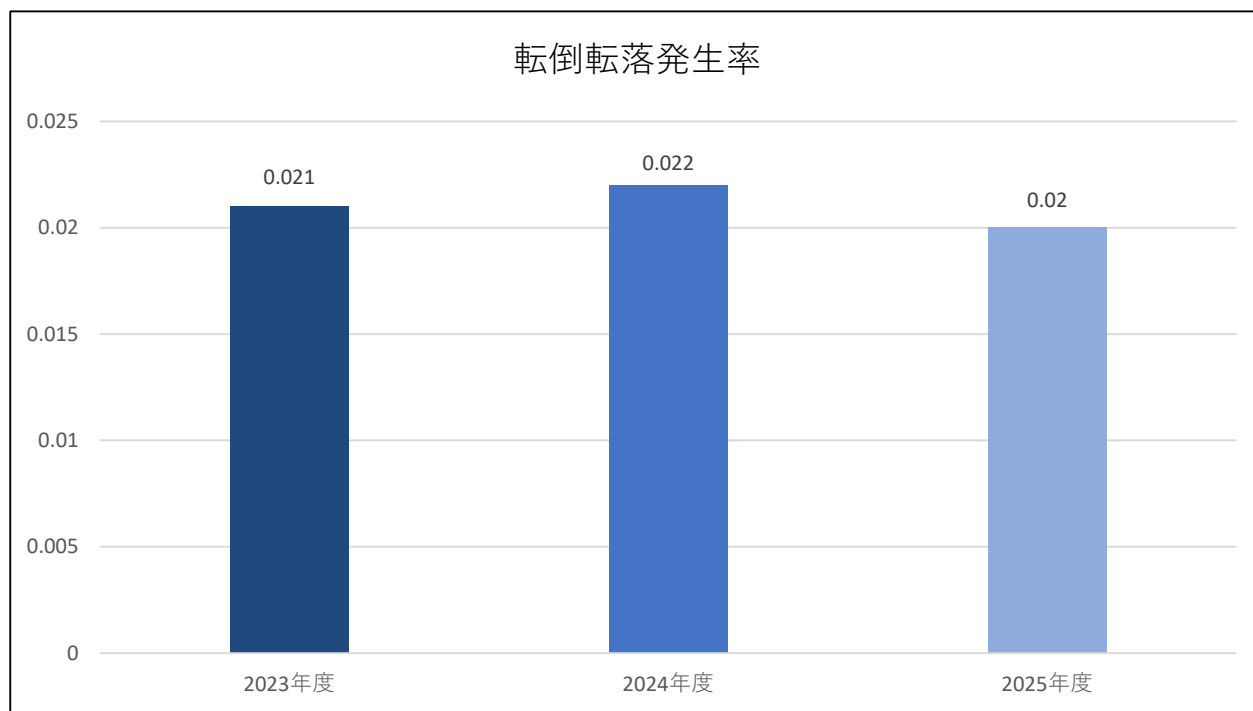
計算式：
$$\frac{\text{分子)入院患者に発生した転倒・転落の件数}}{\text{分母)対象病床の入院延べ患者数}}$$

対象期間：1年間

データ件数：

	2025年度
分子	69
分母	34,778
発生率 (0/00)	0.020

(単位:0/00パーミル)

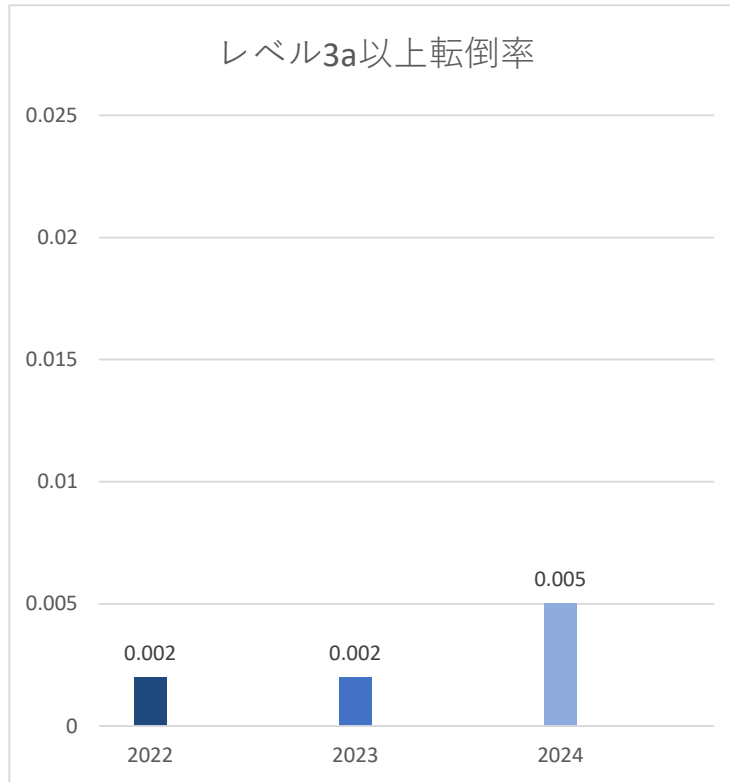


2) 転倒・転落損傷率 (レベル3 a 以上)

データ件数 :

損傷レベル	レベル3a	レベル3b以上
分子	14	3
分母	34,778	34,778
発生率(0/00)	0.0040	0.0009

(単位 : 0/00パーミル)



《損傷レベル》

《報告レベル》

レベル0 : 患者に損傷はなかった (転ぶ所を防げた)

レベル1 : 患者さんは転ぶが、損傷はなかった

レベル2 : 患者さんは転び、あざ、擦り傷など招いた

レベル3 a : 患者さんは転び、ステリーなどの簡単な処置や検査を要した

レベル3 b : 骨折、脱臼などを招いた

レベル4 : 転倒による損傷より永続的な障害や後遺症が残った

レベル5 : 転倒による損傷の結果、死亡した

インシデント報告

アクシデント報告